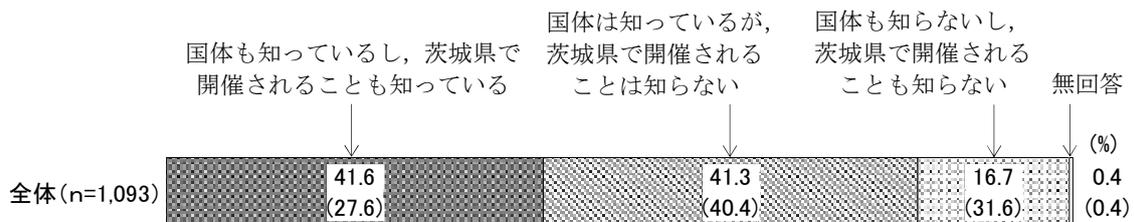


XII 第74回国民体育大会及び第19回全国障害者スポーツ大会

1. 「国民体育大会」が茨城県で開催されることの認知状況

－「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」が4割超－

問34 あなたは、国内最大のスポーツの祭典である「第74回国民体育大会(以下、「国体」といいます)」が、2019年(平成31年)に茨城県で開催されることをご存じですか。次の中から、あてはまるものを1つだけ選んでください。



※()内の数値は、平成26年の調査結果

「国民体育大会」が茨城県で開催されることの認知状況としては、「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」(41.6%)が4割を超えている。一方、「国体は知っているが、茨城県で開催されることは知らない」(41.3%)も4割を超えている。

－「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」が14ポイント増加－

前回調査(平成26年)と比べると、「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」が14ポイント増加している。一方、「国体も知らないし、茨城県で開催されることも知らない」は約15ポイント減少している。

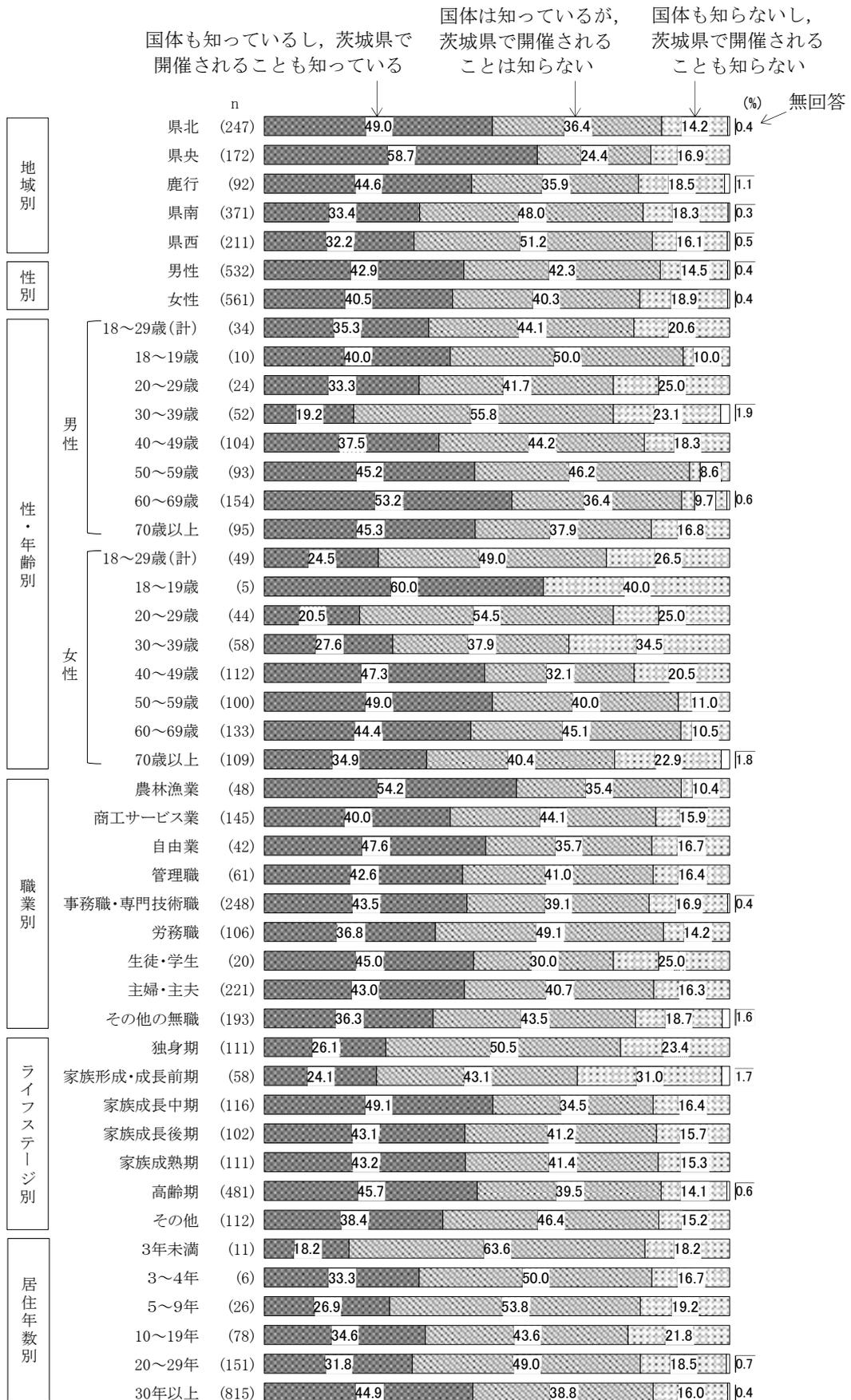
－県央で「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」が約6割－

地域別でみると、「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」は、県央(58.7%)で約6割と最も高くなっている。

－男性の60代で「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」が5割台半ば－

性・年齢別でみると、「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」は、男性の60代(53.2%)で5割台半ばと高く、次いで、女性の40代(47.3%)と50代(49.0%)で約5割となっている。

図Ⅱ 34-1 「国民体育大会」が茨城県で開催されることの認知状況
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別, 居住年数別)



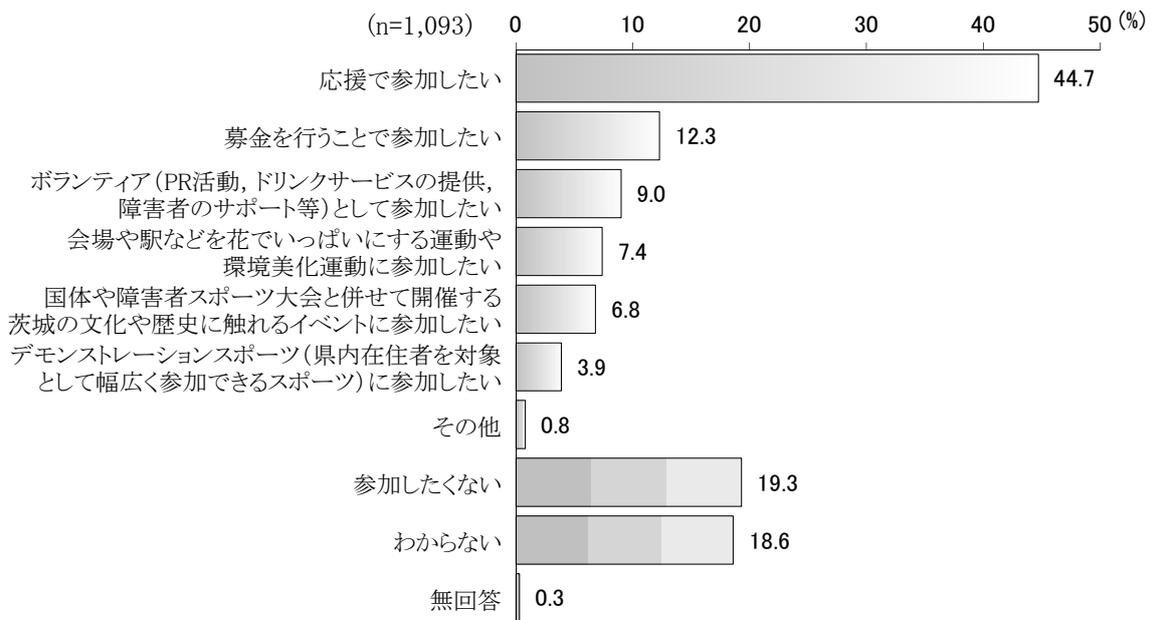
(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

2. 国体や全国障害者スポーツ大会で参加したい項目

－「応援で参加したい」が4割台半ば－

問35 2019年に、茨城県で、第19回全国障害者スポーツ大会(以下「障害者スポーツ大会」といいます)も開催されます。ここからは、国体と障害者スポーツ大会の両方の大会についてお聞きします。

あなた自身が国体や障害者スポーツ大会に参加する場合、どの項目で参加したいですか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



国体や全国障害者スポーツ大会で参加したい項目としては、「応援で参加したい」(44.7%)が4割台半ばと最も高く、次いで、「募金を行うことで参加したい」(12.3%)が1割台が続いている。一方、「参加したくない」(19.3%)と「わからない」(18.6%)がそれぞれ約2割となっている。

－鹿行で「応援で参加したい」が5割台半ば－

地域別でみると、「応援で参加したい」は、鹿行(54.3%)で5割台半ばと最も高くなっている。

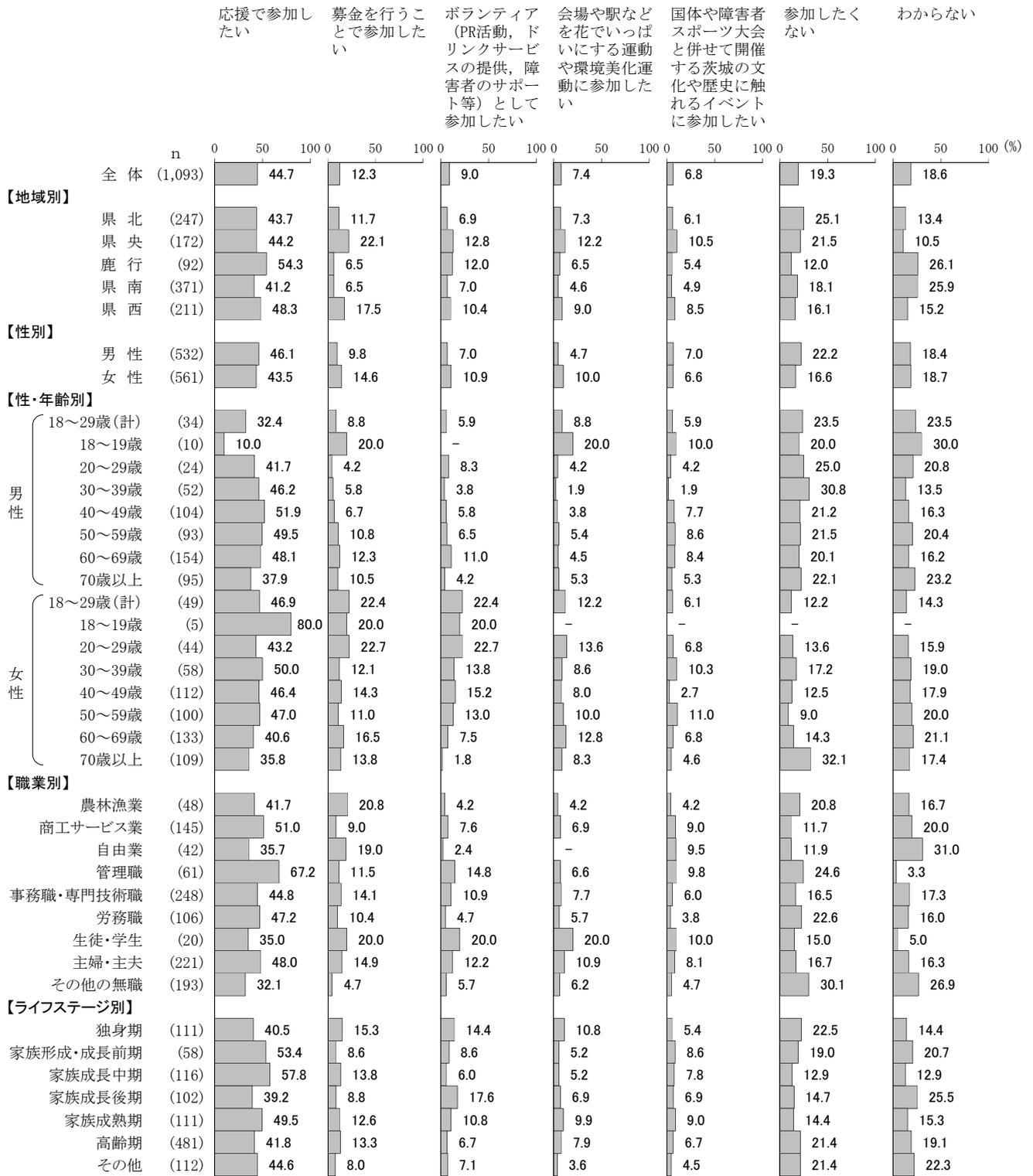
－女性で「会場や駅などを花でいっぱいにする運動や環境美化運動に参加したい」が男性よりも約5ポイント高い－

性別でみると、「会場や駅などを花でいっぱいにする運動や環境美化運動に参加したい」は、女性(10.0%)が男性(4.7%)よりも約5ポイント高くなっている。

－男性の40代と女性の30代で「応援で参加したい」が5割台前半－

性・年齢別でみると、「応援で参加したい」は、男性の40代(51.9%)と女性の30代(50.0%)で5割台前半と高くなっている。

図Ⅱ 35-2 国体や全国障害者スポーツ大会で参加したい項目
 (地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別—上位7項目)

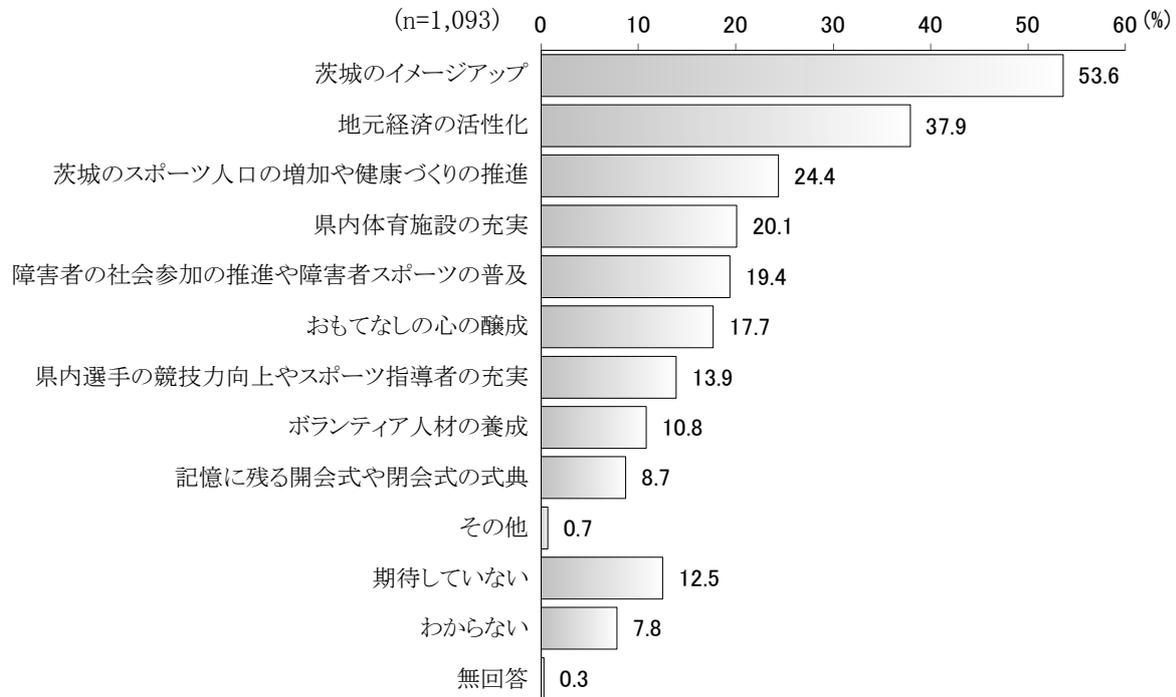


(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
 性・年齢別では, 18~19歳, 20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

3. 国体や全国障害者スポーツ大会の開催により期待すること

－「茨城のイメージアップ」が5割台半ば－

問36 茨城県で国体や障害者スポーツ大会を開催することで、あなたが期待することは何ですか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



国体や全国障害者スポーツ大会の開催により期待することとしては、「茨城のイメージアップ」（53.6%）が5割台半ばと最も高く、次いで、「地元経済の活性化」（37.9%）が3割台で続いている。

－女性の50代で「茨城のイメージアップ」が7割－

性・年齢別でみると、「茨城のイメージアップ」は、女性の50代（70.0%）で7割と最も高く、次いで、男性の60代（59.7%）、女性の40代（58.9%）、60代（57.9%）で約6割と高くなっている。

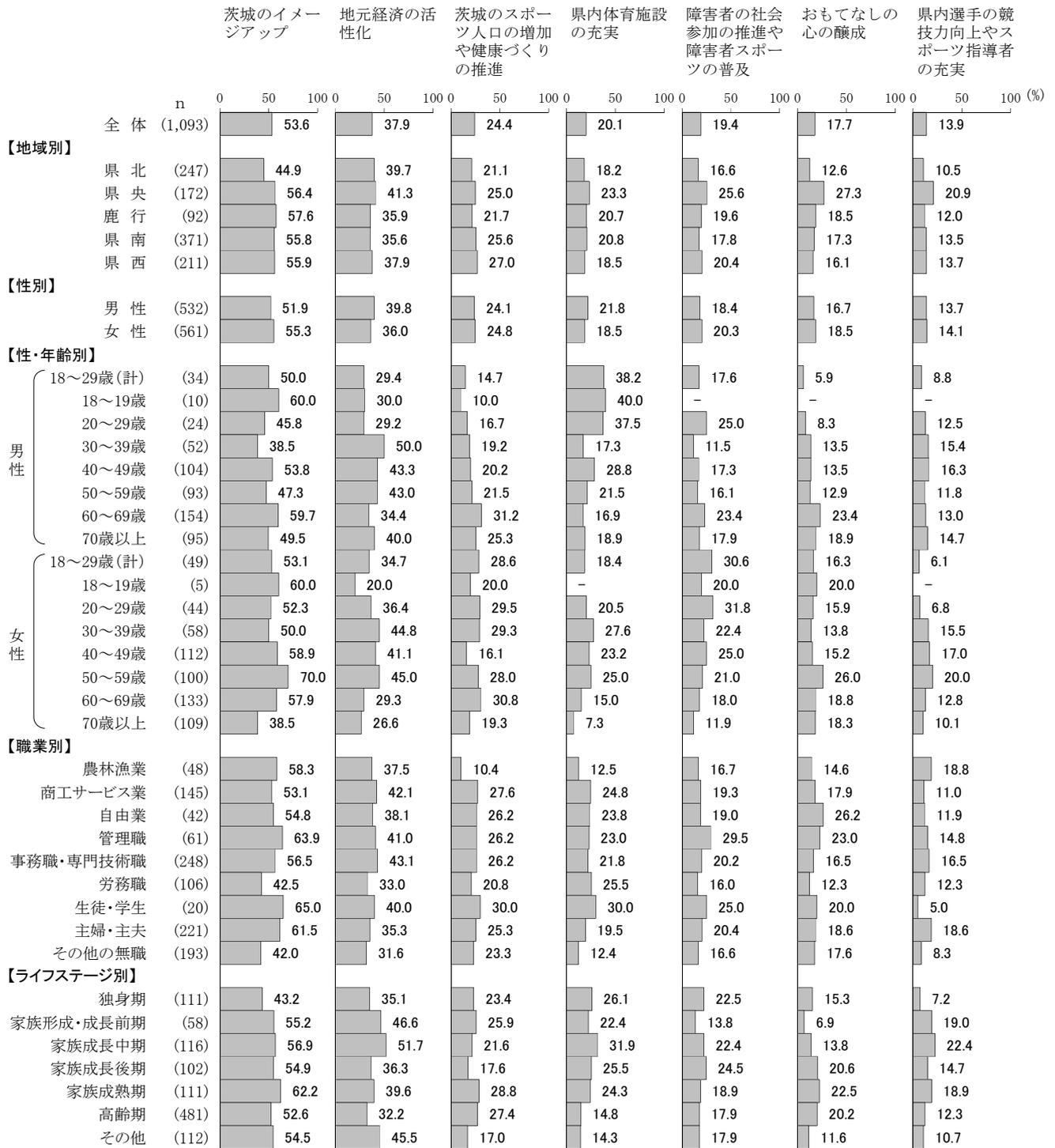
－男性の30代で「地元経済の活性化」が5割－

性・年齢別でみると、「地元経済の活性化」は、男性の30代（50.0%）で5割と最も高く、次いで、男性の40代（43.3%）、50代（43.0%）、女性の30代（44.8%）、50代（45.0%）で4割台半ばと高くなっている。

－管理職と主婦・主夫で「茨城のイメージアップ」が6割台前半－

職業別でみると、「茨城のイメージアップ」は、管理職（63.9%）と主婦・主夫（61.5%）で6割台前半と高くなっている。

図Ⅻ 36-2 国体や全国障害者スポーツ大会の開催により期待すること
(地域別、性別、性・年齢別、職業別、ライフステージ別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。
性・年齢別では、18～19歳、20～29歳よりも18～29歳の層の分析を優先する。